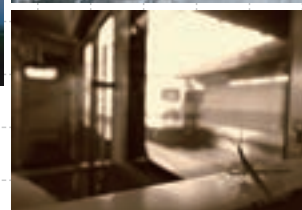
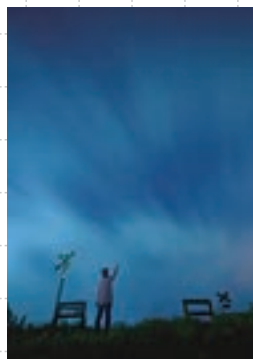


株主通信 第67期 報告書



2013年 1月 1日
↓
2013年12月31日

開発発表

広角端、望遠端ともに焦点距離を拡大し、**世界初***、ズーム倍率約18.8倍を達成
究極の高倍率ズーム誕生。

『16-300mm F/3.5-6.3
Di II VC PZD MACRO
(Model B016)』

※デジタル一眼レフカメラ用交換レンズにおいて。(2014年2月6日現在。タムロン調べ。)



フルサイズデジタル一眼レフ対応。
さらに進化した高倍率ズーム誕生。

『28-300mm
F/3.5-6.3 Di VC
PZD (Model A010)』



目次

ごあいさつ	1-2
セグメント別事業の概況	3-4
TAMRON NOW	5-6
特集：タムロンのサービス体制 「全世界修理3日間」体制	
トピックス	7-8
連結財務ハイライト	9-10
連結財務諸表	11-12
フォトコンテスト開催報告	13
会社情報	14

ごあいさつ



代表取締役社長
小野 守男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第67期(2013年1月1日～2013年12月31日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済を概観しますと、米国経済は財政リスクが懸念された年度後半も、概ね堅調な指標の発表が続く等、総じて堅調さを維持しましたが、欧州経済は失業率が依然高止まっており、景気回復の足取りの鈍さが続きました。中国経済は数年前までの成長率に比べて鈍化傾向が続き、ロシア経済も景気低迷が続きました。

一方わが国経済は、経済政策への期待や株高を背景に、個人消費の持ち直しが続く等、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場は、レ

ンズ一体型タイプの出荷台数は、スマートフォンに需要を奪われる形で前期に比べ約4割減となり、レンズ交換式タイプも前期に比べ約2割減、交換レンズ市場でも前期に比べ約1割減と厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの当期における経営成績は、円安の追い風もあり、主力の写真関連事業の売上高が過去最高となったことや、特機関連事業の売上が好調に推移したこと等により、売上高は684億52百万円(前期比6.4%増)と過去最高を記録いたしました。

一方、利益面につきましては、グループ全社をあげて経費削減に努めたことにより外貨建ての販管費は前期比減少しましたが、円安影響により、円換算後の販管費では前期比6億66百万円の増加(前期比4.4%増)となったことや、ベトナム工場新設に伴う初期費用負担の増加等もあり、営業利益52億33百万円(前期比4.9%減)、経常利益51億96百万円(前期比3.4%減)、当期純利益は特別損失として特許に関する和解金が発生したこと等により31億97百万円(前期比17.9%減)となりました。

■ 次期の見通しについて

次期の見通しにつきましては、中国やその他新興国経済の先行きには不透明感もありますが、内外経済は概ね緩やかに回復するものと予想されます。こうしたなかで当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場におきましては、レンズ一体型タイプはスマートフォンに押され更なる縮小が予想されると同時に、レンズ交換式タイプも引き続き先行きが不透明な状況ではありますが、積極的に新製品を投入してまいります。

これらの状況を踏まえ、次期の連結業績につきましては、

Top Message

売上高710億円(前期比3.7%増)、営業利益58億円(前期比10.8%増)、経常利益56億円(前期比7.8%増)、当期純利益39億円(前期比22.0%増)を見込んでおります。

※本見通しにおいては、為替レート1米ドル=100円、1ユーロ=135円を前提としております。

■ 配当金について

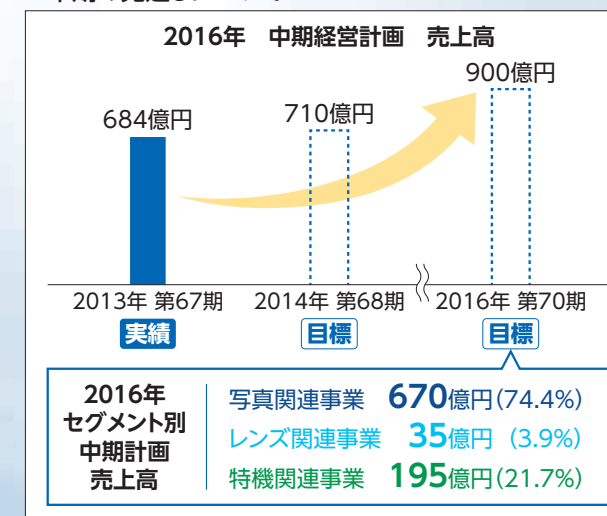
配当金につきましては、1株当たり普通配当30円とさせていただきます。これにより、当期の1株当たり年間配当金は前期と同額の50円(中間配当金20円)となり、配当性向(連結)は42.9%となりました。

また、次期の配当につきましては、現時点では1株当たり50円の年間配当を予定しております。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年3月

■ 中期の見通しについて

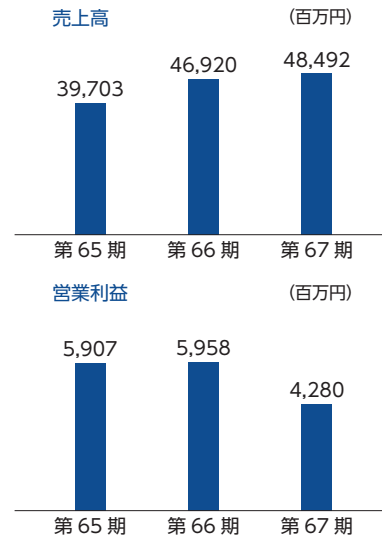
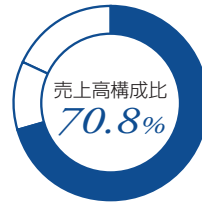




写真関連事業

写真関連事業は、12月に35mm判フルサイズ対応、150mmから600mmまでをカバーする、超望遠ズームレンズSP150-600mm VC USD (A011)を発売いたしました。A011はコストパフォーマンスも良好と、発売と同時に高い評価をいただいております。上記製品の他、主力機種である18-270mm VC PZD(B008)に代表される高倍率ズームを中心に販売に注力いたしましたが、欧州や中国市場での需要低迷の影響で売上高が伸び悩み、一部製品の値下げを余儀なくされたことから減益となりました。

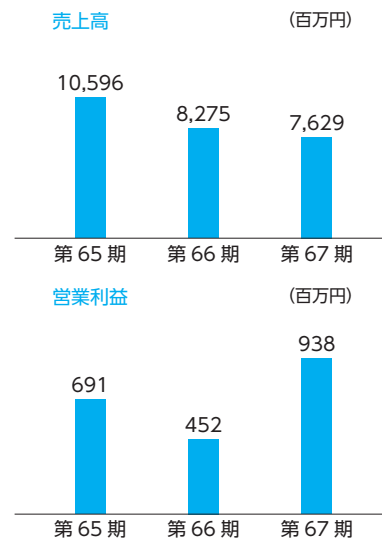
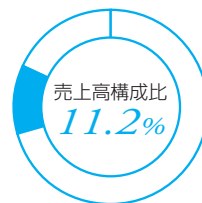
このような結果、写真関連事業の売上高は484億92百万円(前期比3.4%増)となりましたが、営業利益は42億80百万円(前期比28.2%減)となりました。



レンズ関連事業

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラや、デジタルビデオカメラ市場は、スマートフォンの普及拡大などにより大幅な縮小が続いている状況下、売上高は減少となりましたが、開発費の回収などもあり増益となりました。

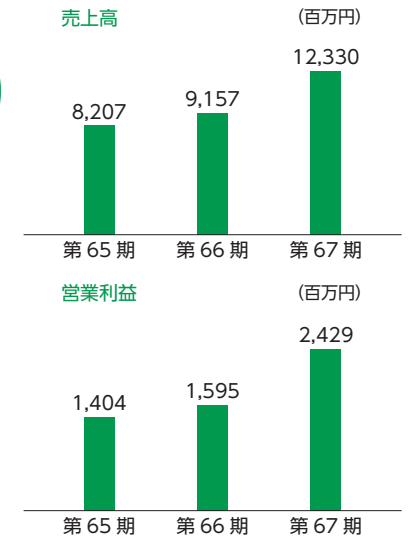
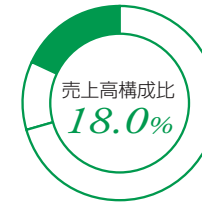
このような結果、レンズ関連事業の売上高は76億29百万円(前期比7.8%減)、営業利益は9億38百万円(前期比107.4%増)となりました。



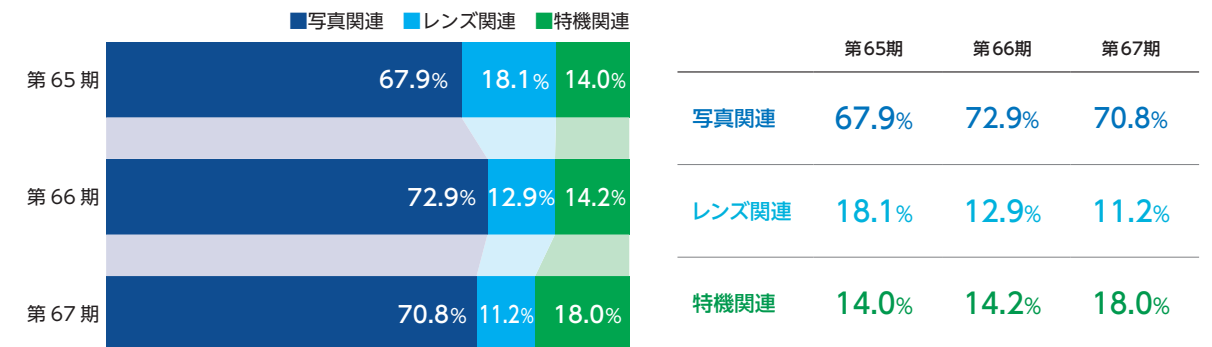
特機関連事業

特機関連事業は監視カメラの高画質化ニーズが高まるなか、一体型監視カメラ市場の拡大により、当社得意分野である高画質のビルトインレンズ(一体型カメラ用レンズ)の販売が引き続き好調に推移し、業績は順調に拡大しました。

このような結果、特機関連事業の売上高は123億30百万円(前期比34.6%増)、営業利益は24億29百万円(前期比52.2%増)となりました。



連結売上高構成比率の推移



TAMRON *Now*

特集：タムロンのサービス体制

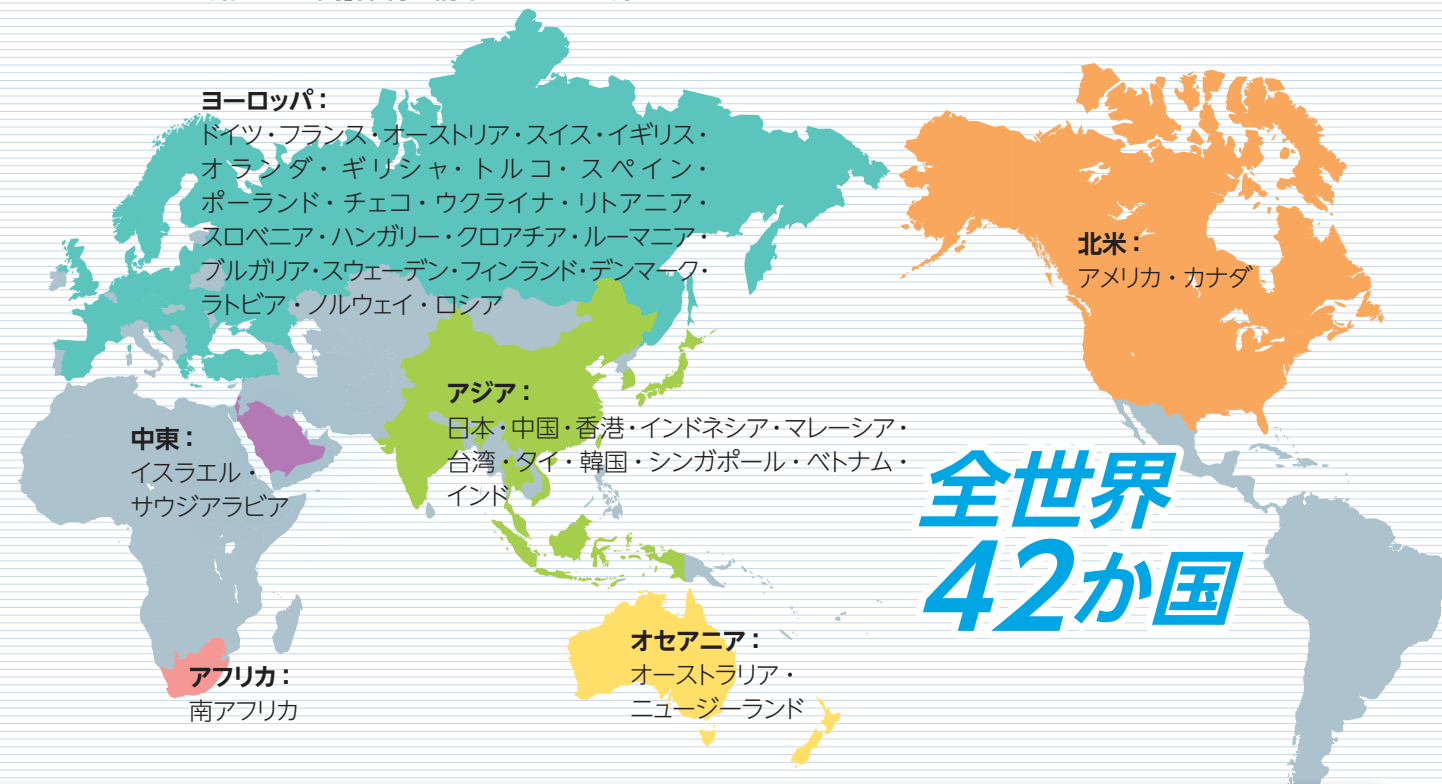
「全世界修理3日間」体制

タムロンではお客様に満足頂けるアフターサービスを提供する為、「全世界修理3日間」体制を構築いたしました。修理拠点を置く全世界42か国において3日間修理サービスを行っております。お客様が修理依頼をされてから発送時間も含め、1週間以内に大切なレンズをお手元にお返しできるよう日々サービスの向上に努めております。

●修理3日間のフローチャート



●タムロンが「修理3日間」体制を構築している世界の国々



更なるサービス向上を目指し新たなサービスを開始いたしました。(日本国内のみ)

「タムロン・レンズライフ・メンバーズ」

お持ちのタムロンレンズの情報を登録して頂く事で下記特典を提供させていただきます。

- ①修理料金の10%割引優待
- ②メンバー会員向け限定のメールマガジン送付

タムロンレンズをお持ちの方はぜひ右記Web入口からご登録をお願いいたします。

トップページ
<http://www.tamron.co.jp>



修理進捗確認サービス Webサイト上で修理進捗が確認できるサービスも開始いたしました。



タムロンレンズ お客様相談窓口
ナビダイヤル
0570-03-7070

「EISAアワード」8年連続受賞 2機種同時受賞の快挙!



EISAアワードの受賞は2013年度で15回目を数えますが、2006年度より8年連続受賞の快挙を達成しており、2013年度はさらに2機種同時受賞を成し遂げました。

SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD (Model A009) 『ヨーロッパ・ズーム・レンズ 2013-2014』受賞

【受賞理由】

フルサイズ用F値2.8のこのレンズは、とてもすばらしい画質で、極めて優れた解像度の写真撮影を可能にする。

手ブレ補正機構「VC」はキヤノンマウントやニコンマウントにも効果的に手ブレを補正。簡易防滴は野外撮影に最適で、超音波モーター「USD」は早く静かなAFを実現。

結論として、タムロンのモデルA009は他社の70-200mm F/2.8のどのレンズとも張り合える機種で、その低価格からかなりコストパフォーマンスの良いレンズであると言える。



SP 90mm F/2.8 Di MACRO 1:1 VC USD (Model F004) 『ヨーロッパ・レンズ 2013-2014』受賞

【受賞理由】

最高のマクロレンズの一つ。開放F値での撮影でも極めてシャープな写真を撮ることができ、同じ焦点距離の優れたモデル272Eをはるかに超える。

高い光学技術に加え、その機能性も評価を上げている。簡易防滴構造、超音波モーター「USD」による素早いAF、手ブレ補正機構「VC」という魅力的な機能が特徴的。

「VC」の手ブレ補正は4段分。その性能と特長に対してとても低価格であり、マクロ写真とポートレートに興味のある写真家にとってつけのレンズとなっている。



画期的 150～600mmまでカバーする超望遠ズームレンズを新発売 『SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)』



手ブレ補正機構「VC」、高速AFを実現する超音波モーター「USD」の搭載、フレアー、ゴーストの原因となる光の反射を大幅に抑制する、先進のコーティング技術「eBANDコーティング(イーバンド・コーティング)」)、さらに、高級感ある新しい外観デザインを採用し、全く新しい超望遠ズームレンズを完成させました。

手ブレ補正機構「VC」

タムロン独自開発の手ブレ補正機構。3つのセラミックボールを介して、3つの駆動コイルが補正レンズ(VCLレンズ)を電磁的に駆動する「3コイル方式」を採用。これにより、VCLレンズはボールとの接触だけで保持される構造となり、摩擦抵抗が少ない滑らかな動きを実現します。また、VCLレンズを電気的な制御だけで平行に移動させることができるので、機械的な構造がシンプルになり、レンズ本体の小型化をも可能にしました。

超音波モーター「USD」

静粛性に優れ、高トルク・高レスポンスでスピーディなピント合わせが可能です。

eBANDコーティング(イーバンド・コーティング)

可視光の波長よりも小さいナノレベルの微細構造を持つ超低屈折率の薄膜を、高精度なマルチコーティングの表面に形成した先進のコーティングを新たに開発。超低屈折率のナノ構造膜と、従来のマルチコーティング技術との融合により、飛躍的な反射防止性能を発揮します。そのため、フレアー、ゴーストの原因となる光の反射を大幅に抑制し、クリアでヌケのよい画像を提供します。

7月
July

受賞 写真関連

「EISAアワード」8年連続受賞。Model A009・Model F004



8月
August

開発発表 特機関連

監視用 近赤外 3メガピクセル対応 一体型カメラ用パリアフォーカルレンズ 1/2.7型 3-9mm F/1.3(Model DF024) 開発発表



9月
September

開発発表 特機関連

交通監視用 3メガピクセル対応 一体型カメラ用ズームレンズ 1/1.8型 15-50mm F/1.4(Model DE005) 開発発表



10月
October

開発発表 特機関連

工業用 6メガピクセル対応 単焦点レンズ 3機種 開発発表

11月
November

新発売 特機関連

超高解像 2.5μmピッチ センサ対応 工業用 単焦点レンズシリーズ 7機種 発売



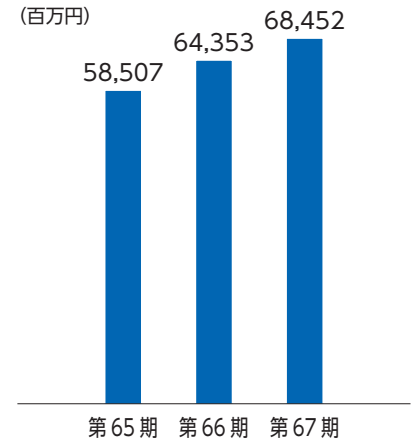
12月
December

新発売 写真関連

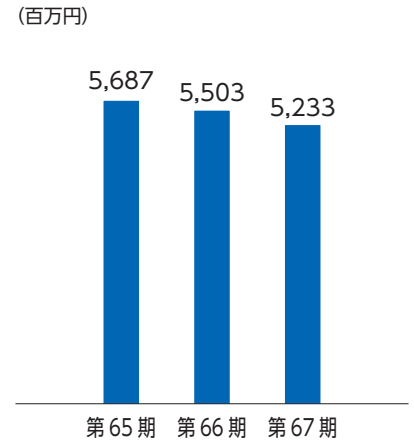
「SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)」 キヤノン用発売



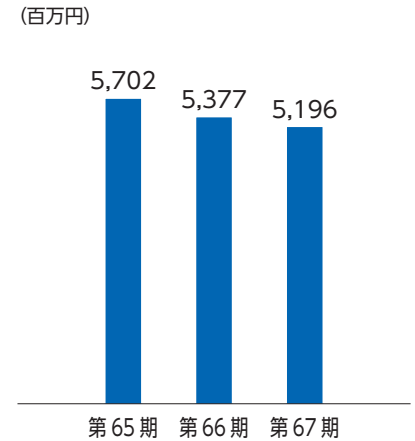
●売上高 前期比 **6.4%** UP



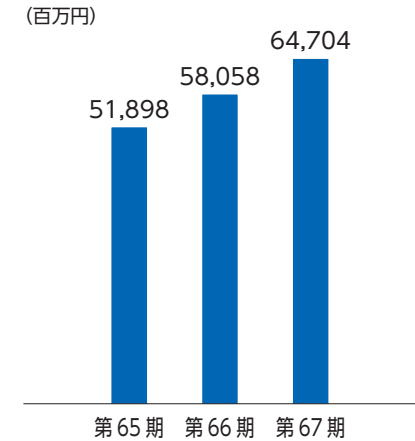
●営業利益 前期比 **4.9%** DOWN



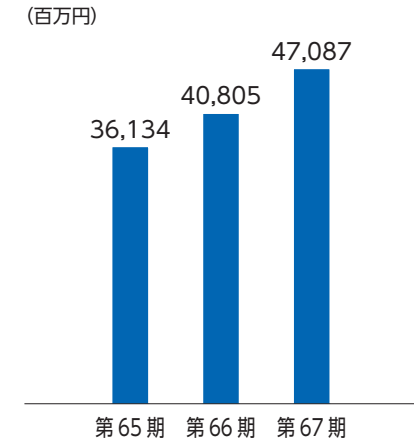
●経常利益 前期比 **3.4%** DOWN



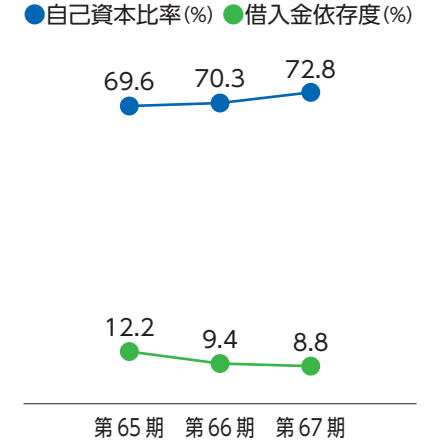
●総資産



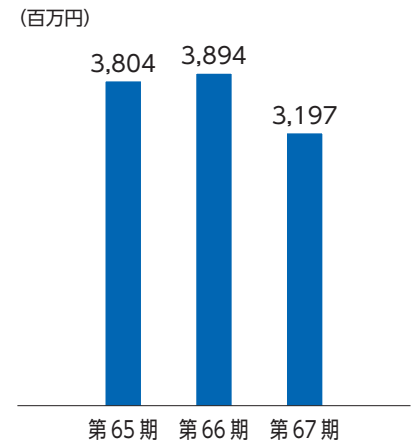
●純資産



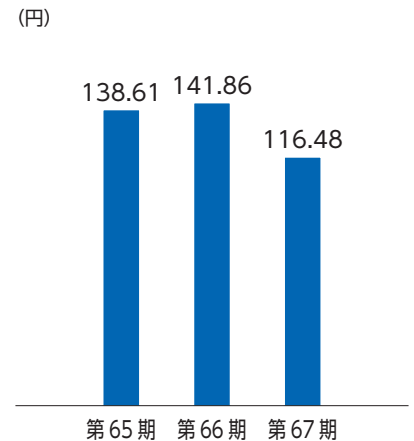
●自己資本比率/借入金依存度



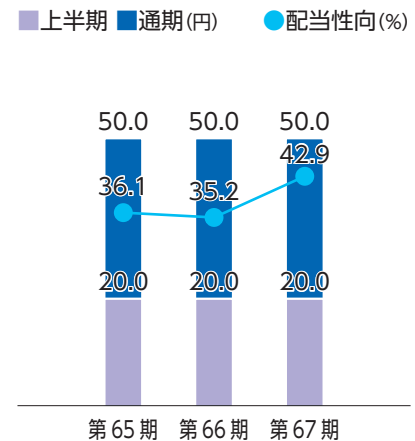
●当期純利益 前期比 **17.9%** DOWN



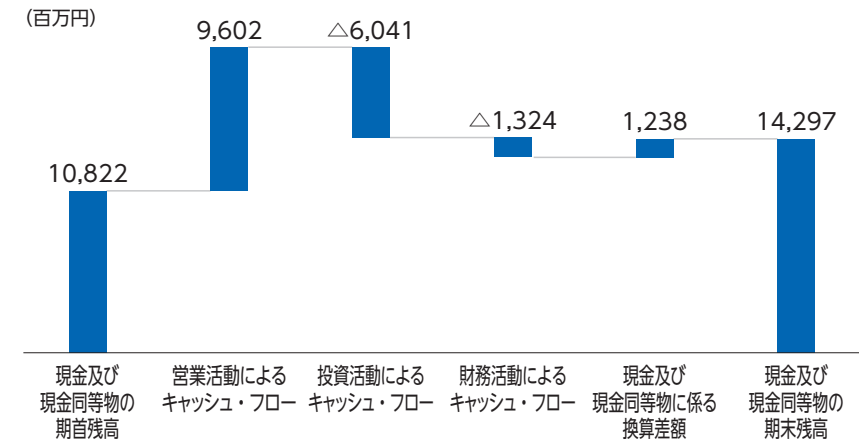
●1株当たり当期純利益



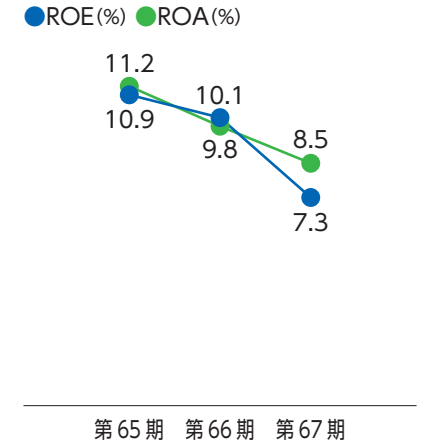
●1株当たり配当金/配当性向



●キャッシュ・フロー (第67期)



●ROE/ROA



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2013年12月31日現在)	前期 (2012年12月31日現在)
資産の部		
① 流動資産	41,758	40,211
② 固定資産	22,945	17,846
③ 資産合計	64,704	58,058
負債の部		
④ 流動負債	14,144	14,262
⑤ 固定負債	3,471	2,990
⑥ 負債合計	17,616	17,252
純資産の部		
株主資本	43,409	41,584
その他の包括利益累計額	3,678	△778
⑦ 純資産合計	47,087	40,805
負債純資産合計	64,704	58,058

Point

① 流動資産

製品が16億59百万円、受取手形及び売掛金が6億11百万円減少した一方、現金及び預金が34億74百万円増加したこと等により、流動資産は15億46百万円増加し、417億58百万円となりました。

② 固定資産

有形固定資産が46億29百万円増加したこと等により、固定資産は50億98百万円増加し、229億45百万円となりました。

③ 総資産

総資産は前期末に比べ66億45百万円増加し、647億4百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2013年1月1日から 2013年12月31日まで)	前期 (2012年1月1日から 2012年12月31日まで)
売上高	68,452	64,353
売上原価	47,510	43,807
売上総利益	20,941	20,545
販売費及び一般管理費	15,708	15,042
営業利益	5,233	5,503
営業外収益	290	201
営業外費用	326	326
経常利益	5,196	5,377
特別損失	364	54
税金等調整前当期純利益	4,831	5,322
法人税等	1,634	1,428
少数株主損益調整前当期純利益	3,197	3,894
当期純利益	3,197	3,894

④ 流動負債

買掛金が3億59百万円減少したこと等により、流動負債は1億17百万円減少し、141億44百万円となりました。

⑤ 固定負債

長期借入金が5億32百万円増加したこと等により、固定負債は4億81百万円増加し、34億71百万円となりました。

⑥ 負債合計

前期末に比べ3億63百万円増加し、176億16百万円となりました。

⑦ 純資産

利益剰余金が18億24百万円増加し、為替換算調整勘定の残高が33億8百万円(前期末は△8億73百万円)になったこと等により、純資産は前期末に比べ62億82百万円増加し、470億87百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2013年1月1日から 2013年12月31日まで)	前期 (2012年1月1日から 2012年12月31日まで)
⑧ 営業活動によるキャッシュ・フロー	9,602	3,736
⑨ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,041	△3,824
⑩ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,324	△2,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,238	501
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,474	△1,950
現金及び現金同等物の期首残高	10,822	12,773
現金及び現金同等物の期末残高	14,297	10,822

Point

⑧ 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少額が28億15百万円、法人税等の支払額が18億35百万円となった一方、税金等調整前当期純利益が48億31百万円、減価償却費が34億40百万円、売上債権の減少額が29億27百万円、たな卸資産の減少額が30億71百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは96億2百万円の収入(前期は37億36百万円の収入)となりました。

⑨ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が57億53百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは60億41百万円の支出(前期は38億24百万円の支出)となりました。

⑩ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入が20億60百万円となった一方、短期借入金の減少額が7億7百万円、長期借入金の返済による支出が13億4百万円、配当金の支払額が13億72百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは13億24百万円の支出(前期は23億63百万円の支出)となりました。

連結株主資本等変動計算書

(2013年1月1日から2013年12月31日まで)

(単位:百万円)

項目	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
2013年1月1日残高	6,923	7,432	27,310	△81	41,584	94	△873	△778	40,805
当期変動額									
剰余金の配当			△1,372		△1,372			—	△1,372
当期純利益			3,197		3,197			—	3,197
自己株式の取得				△0	△0			—	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	275	4,181	4,457	4,457
当期変動額合計	—	—	1,824	△0	1,824	275	4,181	4,457	6,282
2013年12月31日残高	6,923	7,432	29,135	△81	43,409	370	3,308	3,678	47,087

■ フォトコンテスト開催報告 ■

鉄道風景 コンテスト



一般の部 大賞受賞作品(さいたま市長賞)
千葉 満弘 様「夏の終わりに」



小・中・高校生の部 大賞受賞作品
(さいたま市教育委員会教育長賞)
中野 俊輔 様「水鏡」

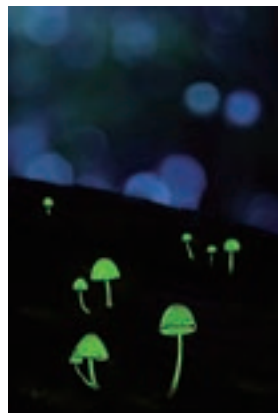
鉄道のまち大宮(さいたま市)に本社を置く企業として、さいたま市、さいたま市教育委員会、さいたま商工会議所のご後援をいただき、地域の活性化と鉄道文化の振興に貢献することを目的として「タムロン鉄道風景コンテスト」を開催しています。

第6回目となる今回、過去5回を大幅に上回る1,768名の皆様から総作品数6,584点もの応募が集まりました。鉄道写真家 広田尚敬氏と、フォトライター「鉄子」として人気の矢野直美氏により厳正な審査が行われ、全88名の方が入賞されました。

マクロレンズ フォトコンテスト

マクロレンズフォトコンテストは、マクロレンズのPR及び普及を目的に2004年から毎年開催しているものです。このコンテストの特徴としては、当社のマクロレンズはもちろんのこと、マクロレンズであればメーカーを問わず、旧モデルも含めて広く作品を募集していることにあります。分野はネイチャー部門とノンジャンル部門を設定しています。

第10回目となる今回は、応募人数2,037名、応募総作品数5,477点と前回は上回るたくさんのご応募をいただきました。審査にあたっては、ネイチャーの部は江口慎一氏に、ノンジャンルの部は川合麻紀氏に行っていただき、両氏の厳正なる審査の結果、全39名の方が入賞されました。



グランプリ受賞作品
山崎 稔 様「森の宝石」

タムロン高倍率ズームレンズ 公式Facebookページ

Facebook(フェイスブック)タムロン高倍率ズームレンズ公式ページよりタムロンレンズの製品情報や活用方法などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。



タムロン高倍率ズームレンズ 公式Facebookページ

ページ名 TAMRON高倍率
ズームレンズ

URL <http://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom>

会社情報

Company Profile

会社概要 2013年12月31日現在

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円
従業員数	2,545名(連結)

役員 2014年3月28日現在

代表取締役社長	小野 守男
取締役副社長	白井 義博
取締役副社長	長島 久明
専務取締役	新井 宏明
専務取締役	志村 忠寛
専務取締役	鯉坂 司郎
常務取締役	大瀬 英世
常務取締役	濱田 憲一
取締役	市川 敬
取締役	阿保 正行
取締役	桜庭 省吾
取締役	川鍋 宏
取締役	清水 秀雄*
取締役	横瀬 三亀夫*
常勤監査役	益子 幸雄*
常勤監査役	安田 信一
監査役	利根 忠博*
監査役	西本 恭彦*

注1. ※印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
2. 当社は、取締役 清水 秀雄、取締役 横瀬 三亀夫及び監査役 益子 幸雄を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株式の状況 2013年12月31日現在

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	27,500,000株
単元株式数	100株
株主数	5,288名 ※単元未満除く

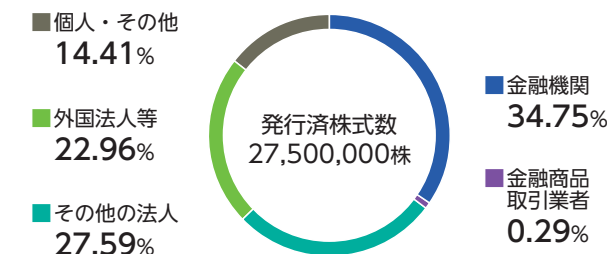
■大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	17.81
ソニー株式会社	3,129	11.38
株式会社宏友興産	1,529	5.56
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.08
ピーエヌピー パリバセック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アパディーニング グローバル クライアント アセット (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	1,069	3.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,029	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	899	3.26
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー アカウント(常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	784	2.85
ジェーピー モルガン チェース バンク 385174 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決裁営業部)	619	2.25
日本生命保険相互会社	480	1.74

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

■株式所有者別分布

※単元未満除く



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先
(電話照会先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 ※ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
当社ホームページ <http://www.tamron.co.jp>

お知らせ

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **上場株式等の配当等に係る10%(所得税7%、住民税3%)軽減税率の廃止について**
2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。
また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、所得税額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。そのため、株式等の配当等もその源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について

配当等の支払開始日	2014年1月1日～2037年12月31日	2038年1月1日～
上場株式等の配当等の税率	[内訳] 20.315% 所得税(15%) + ※復興特別所得税(0.315%) 住民税(5%)	[内訳] 20% 所得税(15%) 住民税(5%)

※ 15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%
(2014年1月時点の情報をもとにしています。)

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00～午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR
- 採用情報
- お問い合わせ

タムロン トップページ

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト

URL http://www.tamron.co.jp/index_p.html



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。